

## 彗星だより

富田 弘 一 郎

## 池谷彗星

1月始めに舞阪の池谷氏の発見したこの彗星は、形が大きく、1月5日朝堂平の91cmカセグレン焦点では写野一ぱいが彗星になってしまう程であった。その後暁天の観測は1月28日までつづけられた。その当時光度7等で尾は無く、核がはっきりしている円形の彗星であった。

倉敷の本田氏からは2月1日まで写真を三鷹に送付された。その後、南緯85度まで南下してから北上しはじめ、地球に近づいて運動が早くなり、2月20日ごろ夕方の西天に見られるようになった。この時は長さ5度以上の尾のある立派な姿となっていて我々の目を楽しませてくれた。光度は3等級で堂平のカセグレン焦点で実視したところでは非常に緑色が強く見えた。同望遠鏡に取りつけた光電走査式分光器による記録は右の図の様で、頭部に著しい輝線バンドが現われている。その後月明のため美観がそこなわれたが、3月20日ごろまだ4等で3度位の尾が見られた。次第に太陽に追つかれて観測しにくくなる。

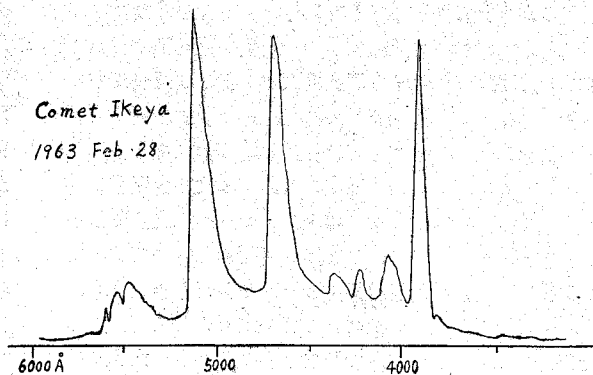
7月初めまでの予報位置を次に掲げる。

1963 0 <sup>h</sup> E.T.		赤経 (1950)	赤緯	$\Delta$	$r$	Mag.
IV	21	1 <sup>h</sup> 10 <sup>m</sup> 95	+14° 8'3	1.871	0.901	6 <sup>m</sup> 5
V	1	1	1.05	15	35.6	
	11	0	51.09	16	59.1	1.917 1.197 9.0
	21	0	39.95	18	21.1	
	31	0	26.41	19	41.2	1.809 1.501 10.8
VI	10	0	9.12	20	55.5	
	20	23	46.63	21	56.1	1.627 1.799 12.2
	30	23	17.69	22	28.5	
VII	10	22	42.06	22	11.6	1.474 2.085 13.2

この予報はエール天文台のマースデン (Marsden) が計算したもので、要素は

$$\begin{aligned}
 T &= 1963 \text{ III } 21.3145 \text{ E.T.} \\
 \omega &= 335^\circ 8843 \\
 \Omega &= 52.4410 \\
 i &= 160.6117 \\
 q &= 0.633745
 \end{aligned}
 \left. \vphantom{\begin{aligned} \omega \\ \Omega \\ i \\ q \end{aligned}} \right\} 1950.0$$

## アルコック新彗星



3月19日イギリスのアルコックは、彼の3番目の新彗星を白鳥座に発見した。光度8等、核あり、尾1度以内、ゆっくり西北へ移動中とのことであった。3月21日朝の三鷹での観測では、アポジテレスコープで容易に見え、ブラッシャーの6分間露出の写真では、小さく集光した彗星で尾は認めがたい、当分の間見られることと思う。

エールのマースデンは次のような要素を得ているが、それによる予報の一部と共にかかげる。

$$T = 1963 \text{ V } 6.040 \text{ E.T.}$$

$$\begin{aligned}
 \omega &= 145^\circ 859 \\
 \Omega &= 42.873 \\
 i &= 86.522 \\
 q &= 1.55732
 \end{aligned}
 \left. \vphantom{\begin{aligned} \omega \\ \Omega \\ i \\ q \end{aligned}} \right\} 1950.0$$

予報位置 (0<sup>h</sup> E.T.)

1963		赤経(1950.0)	赤緯	$\Delta$	$r$	Mag.
V	1	16 <sup>h</sup> 48 <sup>m</sup> 23	+56° 10'6	0.979	1.559	6 <sup>m</sup> 9
	6	16	2.68	54	28.9	
	11	15	16.89	51	7.4	0.876 1.559 6.6
	16	14	35.32	46	4.9	
	21	14	0.54	39	43.1	0.844 1.571 6.6
	26	13	32.97	32	37.8	
	31	13	11.78	25	26.3	0.897 1.595 6.8
VI	5	12	55.74	18	36.9	
	10	12	43.71	12	25.5	1.023 1.630 7.2
	15	12	34.79	6	57.0	
	20	12	28.29	2	9.8	1.200 1.675 7.6